

# 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 ヤギ  
 コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 八木 隆夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 山岡 一朗  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6266-7332

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	40,493	7.3	325	11.1	616	20.6	419	28.9
2022年3月期第2四半期	37,745		366		775		590	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 924百万円 (189.5%) 2022年3月期第2四半期 319百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	50.38	
2022年3月期第2四半期	71.10	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	72,038	35,696	49.6
2022年3月期	64,702	35,149	53.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 35,696百万円 2022年3月期 34,724百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	1.9	2,000	77.6	2,200	62.1	1,100	200.1	132.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	9,200,000 株	2022年3月期	9,200,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	844,865 株	2022年3月期	873,865 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	8,334,420 株	2022年3月期2Q	8,312,306 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(収益認識関係) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、人流回復に伴う個人消費の持ち直しもあり、景気の好転が期待されました。しかしながら、7月以降の新たな変異株による感染症再拡大への懸念だけでなく、世界的なエネルギー価格の上昇、原材料価格の高騰、為替市場における急速な円安の進行で、経済的不安要素が顕在化しており、常に景気の下振れリスクを孕んだ状況にあります。

当社グループはこのような厳しい環境のもと、3ヵ年の中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」の最終年度を迎えており、4つの重点方針である「経営体制の高度化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「次世代事業の創出」、「サステナビリティの着実な実行」の総仕上げに向け、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み強化、ブランドビジネスの強化に尽力しております。

なかでもサステナビリティにおいては、YAGIthical（ヤギシカル）と名付けたエシカル活動を根気強く継続しており、また市場で益々関心が高まっている環境配慮型商材の積極的な開発、ブランディング、販売活動をグループ全体で展開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は40,493百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は325百万円（前年同期比11.1%減）、経常利益は616百万円（前年同期比20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は419百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①マテリアル事業

天然繊維・合成繊維ともに、リサイクル糸などの環境配慮型素材の引合いは増加傾向にあるものの、原材料価格の高騰による販売価格への転嫁が難しい状況が続いております。

しかしそのような中でも、高次加工糸等の差別化原料や車輻向け合成繊維原料販売に関しては比較的安定した動きを見せました。

この結果、売上高は16,544百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント利益（経常利益）は364百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

#### ②アパレル事業

コロナ禍による影響を受けながらも、人流の回復もありスポーツ商材やアウトドア商材等で復調傾向が見られ、また通販向け商材、量販向け商材でも一定の売上を確保しましたが昨年規模までの回復には至りませんでした。

また販売先から要望される価格が厳しいなかで、原材料及び燃料価格が高騰しており、加えて急速な円安の進行で輸入コストが上昇し、利益確保に苦慮する大変厳しい状況となりました。

この結果、売上高は18,745百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益（経常利益）は1,037百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

#### ③ブランド・ライフスタイル事業

生活雑貨や資材を取り扱うライフスタイル事業においては、原材料や加工で差別化を図った高機能資材などの販売が堅調に推移しました。

一方、ブランド事業においては、通期収益の中心となる秋冬商品の卸販売において、実需に基づいたデリバリーに変更したため下期での計上となり、生産等に係る諸経費が先行するなど、前年同期比で売上・利益ともに減少することになりました。

この結果、売上高は6,389百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント損失（経常損失）は628百万円（前年同期は303百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸業で新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復が見られ、売上高は422百万円（前年同期比27.7%増）、セグメント利益（経常利益）は265百万円（前年同期比44.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6,620百万円増加し、55,830百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ716百万円増加し、16,207百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6,783百万円増加し、29,299百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、7,042百万円となりました。これは、繰延税金負債が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ546百万円増加し、35,696百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が419百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想(2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,809,611	4,882,735
受取手形及び売掛金	22,129,551	25,772,185
電子記録債権	7,705,621	9,249,993
棚卸資産	9,029,701	11,521,453
その他	3,582,193	4,452,889
貸倒引当金	△46,108	△48,380
流動資産合計	49,210,571	55,830,877
固定資産		
有形固定資産	4,513,901	4,653,888
無形固定資産		
のれん	301,326	241,061
その他	853,320	771,465
無形固定資産合計	1,154,647	1,012,526
投資その他の資産		
投資有価証券	6,058,801	7,000,197
その他	4,769,440	4,024,786
貸倒引当金	△1,005,215	△483,509
投資その他の資産合計	9,823,025	10,541,474
固定資産合計	15,491,574	16,207,890
資産合計	64,702,146	72,038,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,136,911	12,056,440
電子記録債務	1,939,881	2,517,432
短期借入金	4,490,000	7,616,806
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	109,812	487,086
賞与引当金	526,316	480,469
その他の引当金	63,663	19,095
その他	4,949,916	5,822,365
流動負債合計	22,516,501	29,299,695
固定負債		
長期借入金	4,613,469	4,600,000
繰延税金負債	134,680	187,137
引当金	56,635	10,699
退職給付に係る負債	1,109,745	1,101,969
その他	1,121,652	1,142,949
固定負債合計	7,036,183	7,042,756
負債合計	29,552,685	36,342,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	71,113	55,573
利益剰余金	33,248,987	33,638,629
自己株式	△727,993	△703,834
株主資本合計	33,680,107	34,078,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472,228	1,413,259
繰延ヘッジ損益	214,351	501,336
為替換算調整勘定	2,038	242,420
退職給付に係る調整累計額	△643,735	△539,068
その他の包括利益累計額合計	1,044,883	1,617,947
非支配株主持分	424,470	—
純資産合計	35,149,460	35,696,316
負債純資産合計	64,702,146	72,038,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	37,745,363	40,493,313
売上原価	29,573,831	32,664,052
売上総利益	8,171,532	7,829,260
販売費及び一般管理費	7,804,785	7,503,403
営業利益	366,747	325,856
営業外収益		
受取利息	11,117	4,573
受取配当金	123,259	107,185
為替差益	7,603	160,916
持分法による投資利益	108,651	—
受取補償金	135,664	—
その他	130,132	114,251
営業外収益合計	516,430	386,926
営業外費用		
支払利息	23,646	17,665
貸倒引当金繰入額	65,213	37,428
持分法による投資損失	—	23,761
その他	18,388	17,483
営業外費用合計	107,248	96,338
経常利益	775,929	616,444
特別利益		
固定資産売却益	—	22,702
投資有価証券売却益	65,365	—
債務免除益	—	13,469
特別利益合計	65,365	36,172
税金等調整前四半期純利益	841,294	652,616
法人税等	318,133	301,551
四半期純利益	523,161	351,064
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,808	△68,826
親会社株主に帰属する四半期純利益	590,969	419,891

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	523,161	351,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,893	△60,146
繰延ヘッジ損益	△147,030	286,985
為替換算調整勘定	13,717	143,973
退職給付に係る調整額	98,068	104,666
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,859	97,517
その他の包括利益合計	△203,997	572,996
四半期包括利益	319,163	924,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387,385	992,247
非支配株主に係る四半期包括利益	△68,221	△68,186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	841,294	652,616
減価償却費	288,364	279,275
のれん償却額	60,265	60,265
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,058	37,980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,859	△52,308
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46,546	△48,300
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,541	5,557
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	23,745	△77,715
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△194,347	△46,824
受取利息及び受取配当金	△134,377	△111,758
支払利息	23,646	17,665
持分法による投資損益 (△は益)	△108,651	23,761
投資有価証券売却損益 (△は益)	△65,365	—
固定資産除売却損益 (△は益)	13,577	△22,822
売上債権の増減額 (△は増加)	1,454,592	△4,908,090
固定化債権の増減額 (△は増加)	105	△20
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,239,803	△2,355,605
未収入金の増減額 (△は増加)	△719,274	△382,200
前渡金の増減額 (△は増加)	△302,860	△543,966
仕入債務の増減額 (△は減少)	589,208	2,388,000
未払金の増減額 (△は減少)	416,224	1,026,227
未払又は未収消費税等の増減額	△696,320	△50,901
その他	160,802	△224,275
小計	△619,460	△4,333,439
利息及び配当金の受取額	133,272	116,682
利息の支払額	△22,674	△18,746
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△810,663	364,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,319,524	△3,871,415
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,378	△2,709
定期預金の払戻による収入	311	—
有価証券の償還による収入	—	76,520
有形固定資産の取得による支出	△91,320	△179,011
有形固定資産の売却による収入	803	84,223
無形固定資産の取得による支出	△58,648	△30,595
出資金の払込による支出	△5,000	—
投資有価証券の取得による支出	△245,987	△7,750
投資有価証券の売却による収入	178,250	—
関係会社株式の取得による支出	△811,958	△953,820
貸付けによる支出	△210,505	△100,072
貸付金の回収による収入	47,439	230,672
その他	15,193	72,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,182,801	△810,099

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,493,009	3,113,288
長期借入金の返済による支出	△16,648	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△923	△2,474
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△21,852	—
非支配株主への払戻による支出	—	△430,000
配当金の支払額	△399,681	△339,270
非支配株主への配当金の支払額	△10,406	△731
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,043,498</b>	<b>2,340,811</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,066	79,869
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	556,238	△2,260,833
現金及び現金同等物の期首残高	7,150,657	6,733,505
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59,611	331,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,766,508	4,803,920

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,099,356	17,973,329	6,456,205	—	37,528,891	—	37,528,891
その他の収益	—	—	—	216,472	216,472	—	216,472
外部顧客への 売上高	13,099,356	17,973,329	6,456,205	216,472	37,745,363	—	37,745,363
セグメント間の 内部売上高または 振替高	362,689	672,641	78,846	114,566	1,228,745	△1,228,745	—
計	13,462,046	18,645,971	6,535,052	331,039	38,974,109	△1,228,745	37,745,363
セグメント利益 または損失(△)	347,088	1,208,911	△303,669	183,832	1,436,163	△660,234	775,929

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益または損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	16,042,499	17,804,798	6,339,384	—	40,186,683	—	40,186,683
その他の収益	—	—	—	306,630	306,630	—	306,630
外部顧客への 売上高	16,042,499	17,804,798	6,339,384	306,630	40,493,313	—	40,493,313
セグメント間の 内部売上高または 振替高	501,966	940,870	50,450	116,046	1,609,334	△1,609,334	—
計	16,544,466	18,745,669	6,389,835	422,677	42,102,647	△1,609,334	40,493,313
セグメント利益 または損失 (△)	364,651	1,037,387	△628,105	265,598	1,039,530	△423,086	616,444

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益または損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。